






コロナ対策・松原保全・SDGs 推進のための
手作リアマビエとメッセージ動画を
高校生が小学生にプレゼント！

◆ アピールポイント	<p>■「松原保全とSDGs 推進、まつぼっくりを使った『アマビエさん』の作り方とコロナ対策」について、<u>直接会えない子どもたちに伝えるためのメッセージ動画</u>を、東海大学附属静岡翔洋高等学校の生徒が作りました。</p> <p>■松原保全やコロナ対策啓発ポスターの作成・配布に取り組み、今後アマビエ作りを予定している清水三保第一小学校の児童代表に、翔洋高生徒代表がメッセージ動画とまつぼっくりで作ったアマビエをプレゼントします。</p>
◆ 日時・期間	令和2年7月22日(水) 15:45~16:00
◆ 場 所	静岡市立清水三保第一小学校(清水区三保 1069-1) 校長室
◆ 内容など	<p>■三保地区の子どもたちが通う清水三保第一小学校では、総合学習で三保松原について学び、松原保全活動などに積極的に参加しています。</p> <p>三保松原のまつぼっくりを活用したアマビエ作りにチャレンジするにあたり、翔洋高校の生徒と直接の交流ができないため、動画でのレクチャーをリクエストしました。今後、児童が動画を見ながら作成したアマビエを介して、松原保全とコロナ対策を地域へ呼びかける予定です。</p> <p>■清水区三保、折戸にキャンパスを持つ東海大学附属静岡翔洋高等学校は、松原保全活動に参加するほか、自然科学部が三保松原の海浜植物の調査・研究を行っており、みほしるべでの展示にも協力しています。</p> <p>三保一小からのリクエストを受け、サタデーセミナー理科(市政出前講座)で松原保全とアマビエ作りを学んだ生徒が、日頃から取り組んでいるSDGs 推進も盛り込み、メッセージ動画を作成しました。</p> <div style="text-align: right;">   </div>

<p>◆ その他</p>	<p>■アマビエとは、弘化3年（1846年）に肥後国の海中から現れたとされる半人半魚の妖怪です。当時の瓦版で、アマビエが「もし疫病が流行したら、私の姿を描いた絵を人々に見せよ」と言ったこと、長髪、嘴、目、鰭のある顔、鱗に覆われた胴体、3本の脚を持つ、といういでたちが記録されています。このアマビエのイラストは、厚生労働省のコロナ対策啓発にも使用され、話題になりました。</p> <p>■令和2年4月より、みほしるべ職員が「まつぼっくりの鱗片を鱗に見立てた『ミホのアマビエさん』」を作り、展示や広報に使用しています。6月の三保松原感謝祭でもアマビエ作り体験を開催し、多くのお客様にアマビエ作りをお楽しみいただきました。</p> <p>■インターネット上で『ミホのアマビエさん』を見つけた、日本三大松原の一つである虹の松原で活動する佐賀県立唐津南高校虹ノ松原研究班の生徒も、まつぼっくりでアマビエを作り、地域にコロナ対策を呼びかける活動を始めました。翔洋高と唐津南高のオンライン交流も、今後予定されています。</p> <p style="text-align: right;">虹の松原の アマビエについて▶</p> 
<p>◆ 備考</p>	<p>駐車場に限りがありますので、取材をしていただける場合は、7月21日（火）17:00までにみほしるべ（340-2100）へご連絡ください。</p>

別紙資料 有 ・ 無

ぜひ取材をお願いします！！

【問合せ】

文化財課 三保松原文化創造センター
電話：054-340-2100

【問合せ】

東海大学附属静岡翔洋高等学校
清水区折戸 3-20-1
電話：054-334-0726
静岡市立清水三保第一小学校
清水区三保 1069-1
電話：054-334-0721